

仕 様 書

1 入札番号 総病管第 5-32 号

2 器械の名称及び数量 内視鏡室マネージメントシステム(ソレミオ) 1 式

3 機器の構成

| No. | メーカー | 内 訳 | 数量 |
|-----|--------|---|-----|
| 1 | オリンパス | SolemioENDO Ver.4 | 1 式 |
| 2 | | 【内訳】 | |
| 3 | | オフィスクライアントソフトウェア | 8 |
| 4 | | IT セットアップ(設置調整) | 1 |
| 5 | | 工事費用 | 1 |
| 6 | | 機能改善ソフトウェア PlusⅢ | 1 |
| 7 | | ENDO サーバ用 DB データ移行コンバータ | 1 |
| 8 | | IT セットアップ(移設) | 1 |
| 9 | | ラック無サーバー(5.4TB) | 1 |
| 10 | | Web 連携ゲートウェイサーバ | 1 |
| 11 | | オフィスクライアント Ver.4 MAJ-2176(A)TYPE3 | 2 |
| 12 | | オフィスクライアント Ver.4 MAJ-2176(C)TYPE3 | 1 |
| 13 | | オーダー連携ソフトウェア | 1 |
| 14 | | Solemio スペシャルオーダー1 | 1 |
| 15 | | Solemio スペシャルオーダー2 | 1 |
| 16 | | 現地相乗り検証費 | 1 |
| 17 | | Solemio スペシャルオーダー5 | 1 |
| 18 | | Solemio スペシャルオーダー6 | 1 |
| 19 | | ゲートウェイ I/F 移植 | 1 |
| 20 | | CP 連携ソフトウェア | 1 |
| 21 | | ラベルプリンタ(Sato 製) ラベルプリンタ(Sato 製)ハード | 2 |
| 22 | | スペシャルオーダー8 | 1 |
| 23 | | SolemmioENDO 初年度リモートサポートパック | 1 |
| 24 | | 内視鏡オーダ連携 | 1 |
| 25 | | 病理システム連携対応 | 1 |
| 26 | | 富士通統合ビュー連携 | 1 |
| 27 | | 相乗り検証 | 1 |
| 28 | 富士フィルム | SYNAPSE SCOPE(統合ビュー)連携 | 1 |
| 29 | 松浪硝子 | 病理結果連携(テキスト情報ファイルシェア) 松浪 SO(Web 結果参照連携費用 オペ患者) | 1 |

その他技術仕様書による

4 その他

- (1) 搬入設置、撤去、運転調整（オンライン接続等含む）及び諸手続き一式を含む。
- (2) 機器は、本院の望む方法で本院の望む時期・場所に設置し、機器の設置に伴う設備工事費一式（二次側）を含む。
- (3) 本仕様書に明記されていない事項であっても、本装置の運用上必要な事項は怠りなく装備あ

るいは施工し、疑義については本院と協議し、その指示に従うこと。

(4) 主要諸元はメーカーの仕様による。

(5) 接続する電源系統の地絡の影響や、雷及び開閉サージ等の影響を受けない設備（器具）とするか、受けないよう保護設備を設けた設備（器具）とすること。

(6) 電気容量、入力電圧、漏電対策について病院と事前に相談して必要な措置を講ずること。

5 搬入場所及び保守体制

(1) 搬入場所

静岡県立総合病院

(2) 保守体制

本院から要請のあった場合は、迅速な保守サービスができる体制であること。

納入後翌年度末までは、機器が正常に稼働するために必要な保守・点検（定期交換部品代含む）を無償ですること。

機器の部品は準備し、適正な価格で供給すること。

内視鏡室マネージメントシステム

Solemio ENDO

Ver 4.0

技 術 仕 様 書

目 次

1. システム構成内訳

2. 設置場所と接続機器

3. ソフトウェアの基本要件

- | | |
|----|---------------|
| 1 | 検査受付 |
| 2 | 患者付随情報入力 |
| 3 | 検査前準備 / 検査実施 |
| 4 | 検索 / レポート作成 |
| 5 | 病理オーダー作成（組織診） |
| 6 | カンファレンス |
| 7 | 洗浄履歴管理 |
| 8 | カプセル内視鏡連携 |
| 9 | 院内システム連携 |
| 10 | その他総合／管理機能 |

4. ハードウェアの基本要件

- | | |
|---|--------------------|
| 1 | サーバ装置 |
| 2 | オフィスクライアント（レポート端末） |
| 3 | システム連携ゲートウェイ |

5. 役務要件

- | | |
|---|--------|
| 1 | 導入SE業務 |
| 2 | 立会い |
| 3 | 保守 |

1. 構成内訳

| | | | | |
|------|------|--|-----|-----|
| 1 | 構成内訳 | 電子内視鏡ファイリング (S o l e m i o E n d o)システム | ・・・ | 1 式 |
| 1-1 | | サーバーユニット(5.4TB)障害監視機能付き | ・・・ | 1 台 |
| 1-2 | | Web連携ゲートウェイ | ・・・ | 1 台 |
| 1-3 | | 現地相乗り検証費 | ・・・ | 1 台 |
| 1-4 | | オフィスクライアント(HIS相乗り端末)ソフトウェア・ライセンス | ・・・ | 8 台 |
| 1-5 | | オフィスクライアント(電子内視鏡ファイリング専用端末)デスクトップ型 | ・・・ | 2 台 |
| 1-6 | | オフィスクライアント(電子内視鏡ファイリング専用端末)ノート型 | ・・・ | 1 台 |
| 1-7 | | 機能改善ソフトウェア | ・・・ | 1 本 |
| 1-8 | | DBデータ移行作業 | ・・・ | 1 式 |
| 1-9 | | 内視鏡検査オーダ連携機能ソフトウェア | ・・・ | 1 本 |
| 1-10 | | 内視鏡検査画像DICOM送信機能ソフトウェア | ・・・ | 1 本 |
| 1-11 | | カプセル内視鏡連携機能ソフトウェア | ・・・ | 1 本 |
| 1-12 | | 富士通統合ビュー連携機能ソフトウェア | ・・・ | 1 本 |
| 1-13 | | 富士フイルム社Synapse SCOPE連携機能ソフトウェア | ・・・ | 1 本 |
| 1-14 | | 病理オーダ機能ソフトウェア (オーダ起票画面 (組織診のみ)、依頼書バーコード対 | ・・・ | 1 本 |
| 1-15 | | 病理オーダ連携機能ソフトウェア(松浪硝子連携) | ・・・ | 1 本 |
| 1-16 | | 病理結果テキスト連携機能ソフトウェア | ・・・ | 1 本 |
| 1-17 | | I Tセットアップ (設置調整) | ・・・ | 1 式 |
| 1-18 | | 《富士通》内視鏡オーダー連携 | ・・・ | 1 式 |
| 1-19 | | 《富士通》病理システム連携 | ・・・ | 1 式 |
| 1-20 | | 《富士通》富士通統合ビュー連携 | ・・・ | 1 式 |
| 1-21 | | 《富士通》相乗り検証 | ・・・ | 1 式 |
| 1-22 | | 《富士フイルム》SYNAPSE SCOPE(統合ビュー)連携 | ・・・ | 1 式 |
| 1-23 | | 《松浪硝子》病理結果連携 (テキスト情報ファイルシェア) | ・・・ | 1 式 |
| | | 松浪SO (We b 結果参照連携費用、オペ患者) | | |
| 1-24 | | ラベルプリンタ | ・・・ | 2 式 |

レポート端末設置場所

| | | | | |
|---|-------|-----|----|---|
| 1 | 内視鏡室 | ．．． | 7 | 台 |
| 2 | 透視室 | ．．． | 1 | 台 |
| 3 | 耳鼻科外来 | ．．． | 1 | 台 |
| 4 | 消化器外来 | ．．． | 1 | 台 |
| 5 | 消化器病棟 | ．．． | 1 | 台 |
| | | 計 | 11 | 台 |

接続内視鏡台数

| | | | | |
|---|------|-----|----|---|
| 1 | 内視鏡室 | ．．． | 4 | 台 |
| 2 | 透視室 | ．．． | 2 | 台 |
| 3 | 出張用 | ．．． | 1 | 台 |
| 4 | 耳鼻科 | ．．． | 4 | 台 |
| 5 | 泌尿器科 | ．．． | 1 | 台 |
| | | 計 | 11 | 台 |

3. ソフトウェアの基本要件

1 内視鏡検査オーダー情報取得・表示

- 1-1 院内情報システム（以下、HIS）から内視鏡検査の依頼情報を取得することが可能であること
- 1-2 HISから内視鏡検査の予約情報（検査項目、依頼医師、依頼病名、依頼コメントなど）を取得することが可能であること
- 1-3 HISからオーダー情報取得と共に患者様の感染症、アレルギー情報、禁忌薬剤、注意疾患等を取得することが可能であること
- 1-4 検査予約、依頼済みの患者リストの表示ができ、内容を確認することが可能であること
- 1-5 到着確認後の患者リストを表示し、検査内容から患者の選択することが可能であること
- 1-6 検査進捗状況の表示ができること。検査リストに表示する項目を設定可能であること

2 患者付随情報入力

- 2-1 患者の間診や検査時内容の入力することが可能であること
- 2-2 患者の禁止薬剤、注意疾患、検査時情報、手術歴、感染症、癌治療歴、癌家族歴、嗜好品、内服薬の入力することが可能であること
- 2-3 入力項目はデフォルト設定が可能であること。また、デフォルト以外の項目追加が可能であること
- 2-4 登録済みの過去の患者付随情報を参照することが可能であること
- 2-5 オーダー情報の履歴を参照することが可能であること
- 2-6 患者付随情報入力は、未来の検査に対しても入力が可能であること

3 検査前準備/検査実施

- 3-1 内視鏡依頼情報の確認ができること
- 3-2 レポート入力・画像検索端末、もしくはHIS端末（Web経由）にて過去検査の画像、レポートを参照することが可能であること
- 3-3 検査画像の圧縮画像をデジタルデータとしてサーバへ蓄積できること。画像の圧縮率は非可逆1/10程度であること
- 3-4 レリーズ1秒以内に、非可逆1/10程度の画像を生成可能であること
- 3-5 既存オリンパス社製電子内視鏡CV-260及びCV-290のハイビジョン画像をデジタルにてサーバに記録可能であること
- 3-6 オリンパス社製電子内視鏡（CV-290以上）との連携により、内視鏡装置側からでも当日のオーダ覧やこれから実施する患者様の検査オーダの取得が可能であること。取得された患者情報が内視鏡観察画面に表示可能であること
- 3-7 画像取り込みユニットで接続している場合、ネットワーク接続されていない場合は内部メモリにて100検査分（1検査20駒標準画像撮影時）は一時保存可能であること
- 3-8 内視鏡マネジメントシステムの異常が発生した場合には、オリンパス社製電子内視鏡のモニター画面に日本語にてエラーメッセージが表示されること
- 3-9 既存オリンパス社製電子内視鏡CV-260及びCV-290にて260系290系の内視鏡検査スコープを使用した場合、スコープ機種、シリアルNo.情報を自動取得可能であること
- 3-10 検査（撮影）中にも記録された画像をクライアントから参照可能であること（サーバ接続時）
- 3-11 CV-290接続時、患者情報を入力せずに検査を行った場合でも画像はサーバに取得することが可能であること
- 3-12 検査（画像撮影）を行わなくても、検査終了が可能であること
- 3-13 泌尿器科用内視鏡装置（OTV）の画像も取り込むこと
- 3-14 耳鼻科用内視鏡装置（OTV）の画像も取り込むこと

4 検索/レポート作成

- 4-1 検査後のレポート作成が専用端末上で行えること
- 4-2 検査後に、検査種別毎に特化したレポート作成機能を有すること
- 4-3 キー画像の選択ができること。またキー画像には部位の関連付けが可能で、レポートに自動で反映されること
- 4-4 病変部位、存在診断、質的診断、病理結果等のマスター化が可能であり、マスター登録されたデータを選択して入力が可能であること
- 4-5 病変毎に存在診断、質的診断、肉眼型、鑑別診断、処置の入力ができること。1病変毎の入力は、プルダウンではなく、階層での用語表示が可能であること
- 4-6 レポート用語として内視鏡用語集、癌取り扱い規約、MSTが搭載されていること。上部、下部、ERCP、EUS、小腸、カプセル、呼吸器の診断用語が搭載されていること
- 4-7 入力したデータは1病変1レコード、1検査1レコード両方の形式でEXCEL出力が可能であること
- 4-8 検査種別毎にレポートレイアウトを持つことが可能であること
- 4-9 臓器毎の入力が可能であること。また臓器は任意に選択が可能であること
- 4-10 デフォルト用語以外に追加したものについては、色を変えて表示可能であること
- 4-11 検査種別毎にシェーマを保有できること。またそのシェーマの部位に対して、任意の検査画像を関連付けすることが可能であること
- 4-12 シェーマのレポート添付の選択が可能であること
- 4-13 記録画像、およびシェーマへの画像マーキング・自由曲線の描画が可能であること
- 4-14 画像マーキング機能では、生検番号、ポリペクトミー、ESD/EMR、HOTバイオプシー等、4種類以上のマーキングが可能であること
- 4-15 患者ID・属性・検査種別・撮影部位別・疾患分類・レポート報告日などによるAND、OR、NOT検索が可能であること
- 4-16 レポート登録時、登録者（更新者）の認証を行う機能を有すること。認証が拒否された場合はレポートの保存が不可であること
- 4-17 レポートは版管理が可能であり、更新前のデータもバージョン管理し、保存/参照が可能であること
- 4-18 登録したレポートは出力可能であること。レポートには登録者、版数、登録日時が明記されること
- 4-19 検査後指示、フォローアップ情報が入力可能であること。実施医、期間による検索が可能であること。
- 4-20 診療情報提供書の作成、プリンターへの出力が可能であること
- 4-21 一度決定したレポート添付画像の順番を簡易的な操作で入れ替えることが可能であること
- 4-22 検査終了後の検査に対しても検査画像としての取込が可能であること
- 4-23 同一患者の同一検査において、前回のレポート内容全てを簡易的な操作でレポートへ反映することが可能であること ※処置情報は除く
レポート入力中に同一病変がある場合、簡易的な操作で病変情報をコピーし、同一臓器または他臓器へ病変情報を反映することが可能であること ※他臓器に同一病変のマスタが登録されていることが条件であり、処置情報は除く
- 4-24

5 病理オーダー作成（組織診）

- 5-1 レポート入力情報を引用して、病理オーダー作成機能を有すること
- 5-2 「組織診断」の病理オーダーを作成することが可能であること。※細胞診断病理オーダーは対象外
- 5-3 病理オーダーとして依頼医、臨床所見（内視鏡診断）、コメント、画像への生検個所マーキング情報が、自動引用されること
- 5-4 レポートの処置情報から、部位、方法、採取個数を取得、引用が可能であること
- 5-5 病理検体に貼付けする検体ラベルの印字機能を有すること。ラベルには、オーダーIDや患者IDのバーコード、患者氏名、採取日、診療科等を印字が可能であること
- 5-6 病理依頼表の印刷機能を有すること
- 5-7 作成された病理オーダー情報をHISに送信可能であること
- 5-8 病理オーダーの発行ステータスを検査一覧に表示可能であること
- 5-9 病理結果（レポート）が発行されている場合、病理レポート（WEBベース）の参照表示が可能であること
※病理部門システムが対応している事が必要です

6 カンファレンス機能

- 6-1 検査業務とは別にカンファレンスに最適化された画像・レポートの閲覧機能を有すること
- 6-2 インデックス表示、比較表示、スライドショーなど、カンファレンスを効率的に実施できる画像表示モードを有すること
- 6-3 画像表示から簡便にレポート表示に移行することが可能であること
- 6-4 患者情報、依頼情報、患者付随情報、検査室情報、レポート情報、実施情報などによるAND、OR、NOTの検索が可能であること
- 6-5 検索条件を保存することが可能であること
- 6-6 検索条件に対する検査数、患者数、質的診断数を同時表示可能であること
- 6-7 レポート未登録検査や病理依頼検査などを容易に検索することが可能であること
- 6-8 記録画像、レポートの取出しが可能であること。またその際には、ユーザー認証機能などにより、セキュリティ面を配慮した機能を有すること
- 6-9 画像コピー機能においては、JPEG、BMPでの取出しが可能で、レポート登録時のマーキング情報の含む・含まないを選択が可能であること
- 6-10 レポートコピー機能においては、HTMLやXML形式にてキー画像も含めて取出しが可能であること

7 洗浄履歴管理

- 7-1 一覧画面にて洗浄装置毎の洗浄状況（開始時間、終了予定時間、残時間）が確認が可能であること
- 7-2 洗浄装置毎の詳細画面にて、洗浄しているスコープ毎の機種名、シリアルNo.、検査実施日、検査時間、検査種別、患者ID、患者氏名、主実施医確認が可能であること
- 7-3 洗浄装置毎の詳細画面にて、予備洗浄状態、消毒液濃度、洗浄日時、工程プログラム、開始担当者、終了担当者が確認でき、また、修正登録が可能であること
- 7-4 既存オリンパス社製 内視鏡洗浄消毒装置（OER-3/4）接続時、洗浄工程がエラーにて異常終了した場合、エラーコードを表示することが可能であること
- 7-5 既存オリンパス社製 内視鏡洗浄消毒装置（OER-3/4）から洗浄記録情報を自動的に取得することが可能であること
- 7-6 ネットワーク非対応（OER-3/4以外）の洗浄装置の場合には、ハンディターミナルなどの機器を用いて、無線LANにて洗浄装置、洗浄スコープ、洗浄者の登録が可能であること
- 7-7 一覧画面にて、その日の仕様スコープ一覧を表示できること。また、一覧画面にて、検査開始時間、終了時間、検査項目、実施医、患者ID、患者氏名を表示することが可能であること
- 7-8 スコープの使用履歴、洗浄履歴、修理履歴の管理が可能であること
- 7-9 洗浄消毒装置の洗浄履歴、消耗品交換履歴の管理が可能であること
- 7-10 洗浄消毒装置の消耗品の交換登録が可能であり、また次回交換時期を一覧にて確認が可能であること
- 7-11 予備洗浄、アルコールフラッシュの情報を一括入力することが可能であること
- 7-12 内視鏡検査スコープ毎に検査情報と洗浄結果を関連付けをすることが可能であること
※自動反映ではない。

8 カプセル内視鏡連携

- 8-1 既存オリンパス製カプセルワークステーションとワークリスト連携が可能であること
- 8-2 既存オリンパス製カプセルワークステーションと関心画像連携が可能であること
- 8-3 内視鏡マネジメントシステムの所見登録画面に小腸内視鏡用語を搭載可能であること
- 8-4 撮影時間が画像の下部に表記され登録されること

9 院内情報システム（HIS）連携

- 9-1 HISで登録された内視鏡検査の予約情報（検査項目、依頼医師、依頼病名、依頼コメントなど）を取得することが可能であること
- 9-2 HISから患者様の感染症、アレルギー情報、禁忌薬剤、注意疾患等を取得することが可能であること
- 9-4 内視鏡レポートが作成（登録）された際にSYNAPSE SCOPEシステムにレポートデータをXMLやPDFでURL情報等を送信可能であること
- 9-5 内視鏡レポートが作成（登録）された際に統合ビューシステムにレポートデータをXMLやPDFでURL情報等を送信可能であること

- 9-6 撮影画像は既設PACSに送信可能であること
- 9-7 病理オーダを作成し、オーダ情報をHISに送信可能であること
- 9-8 病理部門システムの結果をWEB経由で参照可能であること
- 9-9 病理結果テキスト情報を受け取ることが可能であること、受信後専用端末にてレポート登録をすることでレポート情報に反映されること
- 9-10 記録された内視鏡画像、レポートをWEB経由でHISに配信可能であること

10 その他総合 / 管理機能

- 10-1 受付から実施、レポート作成までの状態ステータス管理（検査進捗管理）が可能であること

検査室毎に検査中の患者情報、経過時間、撮影枚数、使用スコープを一覧表示可能であること
- 10-2 ※使用スコープ情報は、オリンパス社製電子内視鏡CV-260及びCV-290にて260系290系の内視鏡検査スコープを使用した場合のみ
- 10-3 月報、年報が作成できること。検査単位、患者単位の集計が可能で、Excel保存可能であること
- 10-4 患者付随情報入力、レポート作成において、入力必須項目を設定することが可能であること
- 10-5 管理者権限にて各種マスター、診断用語設定、レポート設定、印刷レイアウト変更などが可能であること
そのためのGUIを有すること
- 10-6 ユーザーレベル管理が行えること。また認証したユーザーの権限による機能制限が可能であること
- 10-7 既存内視鏡部門システム（オリンパス製）の患者情報、検査記録、記録画像をコンバートし管理することが可能であること
- 10-8 リモートにて保守作業を行う場合に、通信経路が暗号化されて実施されること
- 10-9 一定時間使用しない場合には、端末を自動的にロックするなどの不正使用防止、窃視防止策を講じることが可能であること
- 10-10 厚生労働省より出された「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に対応し、遵守に該当する部分について対策を実施していること
- 10-11 HISのクライアント端末上にクライアントソフトウェアをインストールして動作検証を実施すること
- 10-12 内視鏡マネジメントシステムから外科手術の病理結果一覧を参照できる画面（松浪ガラス）を立ち上げられること。かつその結果一覧から過去の内視鏡所見が参照可能であること

以下、余白

4. ハードウェアの基本要件

1 サーバ共通部

- 1-1 サーバ装置本体、無停電電源装置、コンソールユニット、KVMスイッチを有すること
- 1-2 KVMスイッチは4台以上サーバを接続できること
- 1-3 コンソールユニット+KVMスイッチはラックマウント型であること
- 1-4 サーバラックは病院調達とし、病院指定の場所にラッキングを行うこと

2 データベースサーバ

- 2-1 CPUはインテルXeon プロセッサー E5-2609 v2 2.50 GHz相当以上の性能を有していること
メモリ及びハードディスクの容量は、今後6年程度の利用を想定し、利用量が増加した場合でも、システムに支障の無い様、十分な容量を確保すること
- 2-2 なお、ハードディスクは、単純なディスク障害等で、データを失わないよう、RAID5構成とすること
- 2-3 画像入力端末、内視鏡装置から送信される画像データを1駒毎にハードディスクに記録可能であること
- 2-4 検査データのバックアップとしてネットワークハードディスクを有すること。検査データは任意の時間に自動にて、バックアップ作業を行えること
- 2-5 停電時、無停電電源装置は15分間以上の電力供給を行えること
- 2-6 停電が5分以上になる場合、安全に終了処理を行う機能を有していること
- 2-7 OSはWindows Server 2008 R2 SP1又はこれと同等以上の機能を有すること
- 2-8 データベースはOracle11gR2相当以上のリレーショナルデータベースを搭載すること
- 2-9 1000BASE-TX対応のネットワークカードを有すること
- 2-10 日本語キーボード及びマウスを装備のこと

3 システム連携ゲートウェイ

- 3-1 サーバ装置本体、無停電電源、サーバ装置と同じラックに搭載し、コンソール及びKVMスイッチはサーバと共有すること
- 3-2 CPU、メモリ、ハードディスク、基本ソフトウェア等は、納入後6年程度の使用を想定し、必要十分な能力のあるものを提供すること
- 3-3 OSはWindows Server 2008 R2 SP1同等以上の機能を有すること
- 3-4 院内情報システムとの連携プログラムが搭載され、各種連携が行われること
- 3-5 1000BASE-TX対応のネットワークカードを有すること
- 3-6 日本語キーボード及びマウスを装備すること
- 3-7 停電時、無停電電源装置は15分間以上の電力供給を行えること
- 3-8 停電が5分以上になる場合、安全に終了処理を行う機能を有していること

4 オフィスクライアント（レポート端末）

〔デスクトップPC〕

- 4-1 パソコン、ディスプレイを有すること
- 4-2 CPUはインテル® Core™ i5-4590 プロセッサ (3.3GHz/6MB)相当以上の性能を有すること
- 4-3 主記憶装置は4GB以上を有していること
- 4-4 OSはWindows 7 Professional (32bit) 相当以上であること
- 4-5 ディスプレイは19インチ以上液晶ディスプレイを1台有すること
- 4-6 ディスプレイ解像度は1280×1024ドット以上の表示が可能で、1670万色以上の発色が可能であること
- 4-7 1000BASE-TX対応のネットワークカードを有すること
- 4-8 日本語キーボード及びマウスを装備すること

〔ノートPC〕

- 4-9 CPUはインテル® Core™ i3-4000M プロセッサ (2.4GHz/3MB)相当以上の性能を有すること
- 4-10 主記憶装置は4GB以上を有していること
- 4-11 OSはWindows 7 Professional (32bit) 相当以上であること
- 4-12 ディスプレイ解像度は1280×768ドット以上の表示が可能であること
- 4-13 1000BASE-TX対応のネットワークカードを有すること

以下、余白

5. 役務要件

1 導入SE作業

- 1-1 稼働に向け内視鏡関連Dr、スタッフに必要な説明会を実施し運用整合を図ること
- 1-2 HISと連携構築にあたり、公式ベンダー会議への出席、リハーサルに参加すること
- 1-3 HISと連携構築にあたり、必要なベンダー間打ち合わせ、接続試験を実施すること
- 1-4 導入作業においては、導入先診療部門、情報管理部門、事務部門、設備管理部門と適切な整合を持って稼働時に安定稼働を確認する目的での立会いを行うこと。期間については、別途内視鏡部門と整合すること
- 1-5
- 1-6 今回納入する端末及びサーバーには、病院が用意するウィルス対策ソフト（E-SET NOD Anti virus）をインストールすること
購入額には、サーバーの設置費用（搬入及び、設置、電源、LAN接続、テスト）を含んでいること。
- 1-7 サーバの設置箇所については、情報企画室の指示に従うこと。使用するラック、使用電源、接続LANポート等、病院の指示に従うこと
- 1-8 端末の設置に必要なLAN接続及び、電源確保に必要な費用を納入金額に含むこと

2 立会い

- 2-1 稼働に際し、ユーザーの操作レクチャー、運用支援目的での立会いを行うこと。期間については、5日間以上（9:00～17:30）とする。運用状況を鑑みて、実期間については、別途内視鏡部門と整合すること

3 保守

- 3-1 平成29年度の保守に関しては今年度の執行予算に含むものとする。平成30年度以降の保守に関しては有償対応とする。なお、保守費用に関しては別途参考見積もり資料を病院担当者へ提示すること
- 3-2 施設からの問い合わせ、不具合時のコールを受け付けすること
- 3-3 納められているシステム構成を把握し、納品時に保守体制図を提出し、迅速に対応できる体制を維持すること
- 3-4 「定期点検マニュアル」に則り年に1回以上の点検を実施すること
不具合発生時、リモートによる状況確認を行うことにより、より迅速な対応を提供すること
- 3-5 また、リモート接続に必要な費用を含むこと（回線開設、機器費用、回線使用料等）
ただし、情報企画室の提供する共用のメンテナンス用回線の使用を望む場合は、情報企画室の許可を得ること
- 3-6 オンサイト修理の対象機器として、サーバ機器、システム連携ゲートウェイ機器を対応すること
- 3-7 センドバック修理の対象機器として、画像記録端末を対応すること。SENDバック修理機器については代替品を貸与すること
- 3-8 ハードウェア復旧の後、アプリケーションソフトなどのインストールを行い、障害発生前の環境へ復旧させること
- 3-9 復旧作業後動作チェックを行い、システムとして機能しているかを確認を行うこと
- 3-10 契約対象ハードに関して、修理に要する費用は契約内に含まれること
保守契約対象ソフトウェアについて不具合箇所の調査解析および回避を行うこと。また、その費用は契約内に含まれること※弊社製ソフトウェアに限ります。データの破損については、弊社の故意、過失に起因しない限りはその責を負いません
- 3-11
- 3-12 ソフトウェアのバグフィックスバージョンがリリースされた際には、施設と整合の上、必要と判断される物は提供されること。その費用は契約内に含まれること

- 業務系、医事系のマスタについて、施設の求めに応じ、年1回を上限として変更対応作業を実施すること。
- 3-13 その費用は契約内に含まれること。なお、簡易なマスタメンテナンスに関しては、保守担当者がマスタメンテナンス機能のリモート支援を行い対応すること
- 3-14 障害受付時間は、平日9:00～17:30に対応すること
- 3-15 ISMS認証の受けた体制を構築できていること

以下、余白